

---

---

# 教 員 紹 介

---

---

Keywords

# 数学 代数幾何学 はこだて国際科学祭



## 青木 昌雄 (あおき・まさお)

【専門分野】 代数幾何学

【担当科目】 数学入門(代数)・代数学基礎・幾何学 I など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

### 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 中学校・高等学校における数学教育
- 「はこだて国際科学祭」での企画

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 数学を楽しむためのワークショップ

など

学  
生  
た  
ち  
と

### 教員が提供可能な講演・講義例

数とは何だったのか ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ( )

【概 要】

世の中にはたくさんの数があふれています。紙と鉛筆、あるいは電卓やコンピュータを使えば、どんな大きな数でも正確に計算できる、と私たちは信じています。しかし、見たこともないような大きな数の計算結果は、本当に正しくできているのでしょうか。それを確かめるには、数とは何か、計算とはどういうことかをゼロから(0という数から)考え直す必要があります。当たり前のように思っていることを、なぜ、どうしてと問いかけることが数学への第一歩です。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

### 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 講師

【所属学会】 日本数学会

【主な研究テーマ】

- 代数幾何学におけるモジュライ理論
- 代数スタック上の直線束の研究

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- サイエンス・サポート函館運営委員  
(はこだて国際科学祭の企画・運営)

など

Keywords

# 教員養成 障害者教育 技能指導など



## 阿部二郎 (あべ・じろう)

【専門分野】 教科教育学(産業教育学) 教員養成教育 など

【担当科目】 教職論(初等) 小学校教材研究演習 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

### 地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

#### 【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 講演(表演付き) 老人大学、成人大学など、各教育委員会主催の生涯学習活動での講師
- 実技指導 小学校や児童館、社会教育機関主催の「マジック体験教室」での表演と実技指導
- 幼稚園教諭の指導技能研修会講師(知的好奇心を喚起する手品の内容の指導技能研修会) など

#### 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 災害復興支援ボランティア活動等の側面支援活動
- 小学校や児童館や地域文化活動拠点での子ども達の諸活動に対する教育的支援活動
- 学校やPTA活動に対する、教育活動経験者としての支援活動 など

学生たちと

### 教員が提供可能な講演・講義例

講演 人間の心理とトリック「人はなぜ騙されるのか(実演付き)」

実技指導 マジック及び他者に対するマジックの指導技能研修会

【対象】 一般・中高生・教員・その他 (福祉関係者)

#### 【概要】

講演 「騙されまいという努力行為の限界」について、実演を交えて啓蒙・啓発的に講じる。

実技指導 子供対象(幼、小、中、高)の「生涯学習としてのマジック体験教室」

実技指導 一般人対象の「生涯学習としての奇術講座」/教員対象の知的好奇心を喚起する手品の内容の指導技能研修

【その他】20年近く、幼稚園児から一般社会人、高齢者に至るまで、様々な年齢層を対象とした実践経験を持ちますので、多様な形式での講演・体験学習・実技指導演習の要望に対応可能です。日程の許す限り対応いたします。

#### 研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域教育専攻・教職大学院 兼務 准教授

【所属学会】 日本教育学会 日本産業技術教育学会 日本教育方法学会 日本教師教育学会 日本教科教育学会 など

#### (主な研究テーマ)

- へき地(離島)における正規の教育職員免許状所持者の配属実態について
- 初等教育課程における農業教育実践の動向
- 耐教師性の高い教材の開発(図画工作、特別支援教育の作業学習)
- 技術教育史、教育内容(技術教育)・教育方法(アクティブラーニング)の検討、NIE など

#### 【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 老人大学、成人大学など、各教育委員会主催の生涯学習活動などの講師 / 道新文化センター(函館)講師
- 災害復興支援コンサート活動支援(ソリダ'リコンサートの支援)
- 小学校や児童館や地域文化活動拠点でのマジック体験教室の開催(児童館、市立小、旧亀田福祉センター主催体験教室、椴法華教育事務所主催体験教室など)
- 学校活動やPTA活動に対する、教育活動経験者としての活動支援(旧軍川小学校運動会、田植活動のお手伝い等)

Keywords

地域のくらしと文化 教育開発 など



有井 晴香（ありい・はるか）

【専門分野】 国際社会学 アフリカ地域研究 など

【担当科目】 開発社会学1～2 社会調査の基礎 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の文化資源に関する調査研究

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の生活ニーズ調査およびその支援
- 地域の世代間交流・国際交流活性化を目的とした拠点づくり支援

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

アフリカに学校を建てよう？ ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】

「アフリカの貧しい子どもたちのために学校を建てよう！」こんなフレーズを目にしたことがある人は少なくないと思います。しかし、アフリカの子どもたちは本当に「貧しい」のでしょうか？どれくらいの子どもが学校に行けていないのでしょうか？アフリカの人びとにとって学校とはどのような場所なのでしょう？アフリカ各国の学校をとりまく状況を紹介します。国際教育協力のあり方について考えます。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 講師

【所属学会】 日本文化人類学会 日本ナイル・エチオピア学会 日本アフリカ学会 日本比較教育学会

【主な研究テーマ】

- アフリカ農村における女性のライフコースと教育開発
- アフリカ農村における子どもの遺棄と保護

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 日本ナイル・エチオピア学会 評議員

など

Keywords

アメリカ 政治 外交 安全保障 宗教 など



飯山 雅史 (いいやま・まさし)

【専門分野】 国際関係論 政治学 地域研究 マスコミ

【担当科目】 北米政治外交論 日米関係論 現代北米事情 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- アメリカ政治、大統領選挙、日米関係に関わる講演
  - 函館とアメリカの交流に関する活動
  - マスコミ、メディアと世論形成に関して講演
- など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 講演会実施
- など

学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

国際ジャーナリズム ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概要】

世界各地に飛んで戦争と平和の現場を目撃し、世界に伝える国際ジャーナリスト。その仕事の意義と魅力を、元新聞社の海外特派員だった教授が語ります。国際ジャーナリストを目指すためには、大学で何を学ぶべきなのか、ポイントもじっくりと伝えましょう。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本国際政治学会 アメリカ学会 アメリカ政治研究会

【主な研究テーマ】

- 現代米国政治のイデオロギー対立における宗教的要因  
個人研究
  - アメリカにおける宗教と政治
  - 米現代政治と日米関係
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 各種企業研修会などで講演「ニュースが100倍面白くなる国際政治学」
  - 読売テレビの情報番組「ミヤネ屋」でレギュラーコメントーター
- など

Keywords

算数科授業研究 国際教育協力 など



石井 洋 (いしい・ひろし)

【専門分野】 算数・数学教育 国際教育協力

【担当科目】 初等算数科教育法 国際教育協力論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 算数・数学科における校内研究の研究協力(教材研究や学習者の実態把握の支援)
- 国際協力の講話や国際理解教育(開発教育)のワークショップ

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 「函 Math プロジェクト」において児童にとって身近で楽しい函館地域に関する算数問題を作成中。児童の学力向上を図るとともに、地域への愛着をもたせる問題の提供が可能

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

国際教育協力の現状

【対 象】 一般・中高生・教員・その他( )

【概 要】

青年海外協力隊として2度の国際教育協力経験の内容(ブータン王国、ザンビア共和国)や、短期専門家として関わっていたサモア独立国の国際教育協力の現状をお話します。現在、日本の国際教育協力では、理数科の授業改善に関わる技術協力プロジェクトが世界各地で実施されています。多くの開発途上国では、教育へのアクセスが達成され、次なる目標として教育の質的改善に向けた動きが活発化しています。本講義では、開発途上国も注目している日本の算数・数学教育の特徴やその質の高さ、そして開発途上国の教育の現状や課題、それを克服するための国際教育協力の在り方などを解説します。

【その他】 算数・数学科における研究授業の助言、校内研究の研究協力などにも対応します。新学習指導要領が示す算数・数学授業の具体化や学力向上について、教材研究及び学習者の実態把握の両側面から支援します。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 全国数学教育学会 日本数学教育学会 日本教師教育学会 国際開発学会 開発教育協会(DEAR)

【主な研究テーマ】

- 開発途上国における数学科授業研究の内発的発展に関する研究
- 算数科における教科横断的な学習に関する研究

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- JICA 課題別研修「初等理数科教授法」講師
- JICA「サモア独立国初等理数科教育における問題解決型授業の展開」短期専門家

など

Keywords

やさしい日本語 言語教育のための ICT 活用 など

|   |                             |                |                                      |
|---|-----------------------------|----------------|--------------------------------------|
|  | 伊藤 美紀 (いとう・みき)              |                |                                      |
|   | 【専門分野】 日本語教育学 外国語教授法        |                |                                      |
|   | 【担当科目】 日本語教育学   日本語教育法   など |                |                                      |
|   | お問合せ                        | ☎ 0138-44-4206 | ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp |

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |  |   |                       |
|-------------|--|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】  | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●やさしい日本語の活用に関するオンライン相談</li> <li>●外国人観光客のための案内版や展示物のやさしい日本語版作成に関する検討</li> <li>●日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒支援のための助言・オンライン相談 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●やさしい日本語の活用</li> <li>●外国人観光客のための案内版や展示物のやさしい日本語への書き換え</li> <li>●日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒の日本語支援</li> <li>●オンライン外国語体験会の実施 など</li> </ul> |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

|   |  |
|---|--|
| 日本語教育からみる世界と地域  | 【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ( ) |
| 【概 要】 日本語教師という職業を通して世界や地域を見てみます。これからの多文化共生社会について考えるきっかけになればと思います。         |  |
| 【その他】 「日本語教育入門」「日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒の支援」「やさしい日本語活用入門」「振り返りを促進するオンライン授業例」 |  |

## 研究者情報

|   |   |
|---|---|
| 【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授  |   |
| 【所属学会】 公益財団法人日本語教育学会 大学日本語教員養成課程研究協議会   |   |
| 【主な研究テーマ】   | 【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本語学習者と対話する一般の日本語母語話者を支援するためのやさしい日本語に関する研究 国内共同研究</li> <li>●観光用展示物のやさしい日本語への書き換えをととした学びについての探索的研究 国内共同研究</li> <li>●ICT を活用した振り返り活動を通して得る学びに関する研究 個人研究</li> <li>●言語イデオロギーに関する研究 個人研究 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●公益財団法人日本語教育学会 北海道支部活動委員 (～2019.6)</li> <li>●北海道教育庁学校教育局帰国外国人児童生徒等教育推進支援事業 運営協議会 助言者 (2017.7)</li> <li>●北海道教育委員会帰国・外国人児童生徒等教育推進支援事業運営協議会 運営委員 (2018.7～現在に至る) など</li> </ul> |

Keywords

法の経済学的な分析 法の哲学

など



伊藤 泰 (いとう・やすし)

【専門分野】 法哲学

【担当科目】 現代地域教養2 (法哲学) 日本国憲法 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 法教育
- その他、法にかかわることであれば、ご相談ください。

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 法教育プロジェクト

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

「平等」について考える ほか

【対 象】  一般・ 中高生・教員・その他 ( )

【概 要】

現代社会は自由や平等を基調としていられると言われてますが、そもそも「平等」とはどういうことなのでしょう。具体例をもとに考えてみましょう。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授

【所属学会】 法哲学・社会哲学国際学会連合 (IVR) 日本法哲学会 公共選択学会 日本公法学会

【主な研究テーマ】

- 公共選択論 個人研究
- 法秩序のゲーム論的モデル化 個人研究

など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 函館地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員
- 函館市個人情報保護審査会 委員
- 函館市公文書公開審査会委員

など



Keywords

まちあるきガイドと観光・観光とまちづくり など

|   |                          |                |                                      |
|---|--------------------------|----------------|--------------------------------------|
|  | <b>奥 平 理 (おくだいら・おさむ)</b> |                |                                      |
|   | 【専門分野】 観光学・人文地理学         |                |                                      |
|   | 【担当科目】 地域政策概論 I～IV など    |                |                                      |
|   | お問合せ                     | ☎ 0138-44-4206 | ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp |

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|                      |   |   |                                  |
|----------------------|---|---|----------------------------------|
| <b>教<br/>員<br/>が</b> | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】   | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | <b>学<br/>生<br/>た<br/>ち<br/>と</b> |
|                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の観光振興に関する調査・研究・分析（北海道新幹線開業による経済効果）</li> <li>●観光まちあるきガイド育成事業（函館市観光ボランティアガイド育成事業）</li> <li>●観光振興・まちづくり・経済効果に関する講演（講演回数：100回超） など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各種団体主催の観光関係イベントに参加・協働</li> <li>●各種団体主催のまちづくり関係イベントに参加・協働</li> <li>●「学生観光ボランティアガイド」の組織化と運営支援 など</li> </ul> |                                  |

## 教員が提供可能な講演・講義例

|                     |   |
|---------------------|---|
| 地域振興と地域連携-津軽海峡圏- ほか | 【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ） |
|---------------------|---|

【概 要】津軽海峡圏（津軽海峡をはさんだ渡島半島南部～青森県）は歴史的にみて、交通手段の発達によりその交流を変化させてきました。そして北海道新幹線の開業で函館～青森間は約1時間で行き来できるようになりました。こうした変化が津軽海峡圏の地域に与えるさまざまな影響（例：観光）を分析することから、より活発な交流を生み出す方をわかりやすく、具体的に解説します。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本観光学会 日本地理学会 北海道地理学会

|   |   |
|---|---|
| 【主な研究テーマ】   | 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光（ボランティア）ガイド活動による地域活性化の事例<br/>—津軽海峡圏—</li> <li>●日本とカナダの観光地におけるクルーズ船寄港による観光・ビジネスの拡大と地域活性化</li> <li>●道南・函館における観光イベントの運営形態と学生参加の可能性 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●国土交通省函館開発建設部管内協働型道路マネジメント会議委員長（H27. 2～）</li> <li>●国土交通省函館圏タクシー事業適正化・活性化協議会会長（H26. 2～）</li> <li>●函館市観光アドバイザー会議座長（H26. 4～）</li> <li>●函館市生活交通協議会会長（H27. 10～） など</li> </ul> |

Keywords

衛生学・公衆衛生学 疫学・予防医学など



金子 信也 (かねこ・しんや)

【専門分野】 衛生学・公衆衛生学 疫学・予防医学 教育学 など

【担当科目】 衛生学・公衆衛生学 精神保健学 養護総合演習 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

●生活支援整備に関する調査研究・支援

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

●要望があればご相談下さい。

など

学  
生  
た  
ち

教員が提供可能な講演・講義例

あなたの性格を振り返ってみませんか ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】 私たち一人ひとりが持っている性格を分析してみましょう。これまでの性格を振り返ることで、これまでの自分を確認出来ることに加え、新たな自分との出会いや、人間理解への興味が喚起されるかもしれません。

※人格と個人の成長および変化に関わる体系的な心理療法の理論である交流分析に基づいた性格分析を実施し、これまでの性格の再確認と新たな自分との出会い、そして人間理解への興味喚起を意図するものである。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）養護教諭特別別科 准教授

【所属学会】 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会など

【主な研究テーマ】

- 養護教諭特別別科生の精神健康調査
- 中小企業経営者の心身健康調査
- 東日本大震災被災者の精神健康とリスクマネジメント

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 高槻市自殺対策連絡協議会委員
- 未来のトラック研究会研究員
- 日本リスクマネジメント学会 AMAROK Japan 主任研究員

など

Keywords

理科教育 地学 古生物学 地球環境 など



紀 藤 典 夫 (きとう・のりお)

【専門分野】 地質学 古生物学 第四紀学 生態・古環境

【担当科目】 地球科学基礎 地球環境史 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の地質学・古生物学に関する調査・研究

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の地学や自然の観察・学習会
- 理科クラブ・地学クラブなどの研究の支援

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

ブナの森の歴史 ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ( )

【概 要】

今から1万年ほど前の地球は、ヨーロッパや北米に厚い氷河が発達する氷河時代でした。日本でも、寒冷な気候のもと、北海道や東北地方の山地には、寒冷地の針葉樹林が広がっていましたが、現在では美しいブナの森が広がっています。そのブナは、氷河時代の寒い時期には、南の地方に逃れていたと考えられますが、どのようにして現在のような分布域を形成するに至ったのか、化石や遺伝の証拠から解説します。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授

【所属学会】 日本第四紀学会 地学団体研究会 日本古生物学会 日本植生史学会 日本生態学会

【主な研究テーマ】

- 第四紀の植生の変化の歴史
- 道南のブナの森の形成史
- 気候の変化と植生の変化の関係

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- ジオフェスティバル in HAKODATE
- 青少年のための科学の祭典

など

Keywords

民事法学 法教育 根抵当制度 など



金 鉉 善 (きむ・ひよんそん)

【専門分野】 民事法学 法教育

【担当科目】 民法 日本国憲法 倫理・人権 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |   |   |                       |
|-------------|---|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】   | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●われわれの生活に密接に関連する私法教育（民法等）について研究・支援</li> <li>●多文化共生社会の実現のために法教育を支援（子どものための法教育、外国人のための法教育など）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●人形劇による「子どもに対する法教育プロジェクト」</li> <li>●「多文化共生社会実現プロジェクト」外国人と受け入れ側が共に考える場づくりー法教育の観点からアプローチ</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 多文化共生社会の実現<br>ー法教育の観点からアプローチ | 【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ） |
|------------------------------|---|

## 【概 要】

グローバル化に伴い、「情報」「モノ・カネ」「ヒト」の移動が激しくなり、その変化の中で、私たちは、ほかの人々と共に生活をしています。他人同士が、気持ちよく、生活をするためには、一定の法（ルール・きまり）が必要です。その法・ルール・きまりは、「誰が決めるのか?」「誰のためにあるのか?」について法教育の観点からアプローチします。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 日本私法学会 日本土地法学会 比較法学会 中四国法制学会 北海道教育大学函館人文学会 など

## 【主な研究テーマ】

- 法教育 個人研究
  - 根抵当制度の研究 個人研究
- など

## 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市地球温暖化対策地域推進協議会 委員
- など

Keywords

## ジェンダーと教育 教員社会

など



木村育恵（きむら・いくえ）

【専門分野】 教育社会学 「ジェンダーと教育」研究

【担当科目】 ジェンダー論 教育の社会学 学校文化論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |  |   |                       |
|-------------|--|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】  | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ジェンダー平等、男女共同参画、多様な性に関する理解促進等の支援・連携</li> <li>●ジェンダー・多様な性に関する教育、教員のキャリア形成におけるジェンダー平等課題についての支援・連携、研修会開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ジェンダーと教育、多様な性、教員のキャリア形成におけるジェンダー平等課題等についての調査研究の支援</li> <li>●学校教育とジェンダー、LGBT、SOGI に関する理解促進のための活動、研究発表の支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

共生社会とジェンダー など

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

## 【概 要】

学校生活やカップル関係など私たちの日常を、普段とは少し違う「ジェンダーに敏感な視点」からとらえ直してみると、何がみえてくるのでしょうか。「ジェンダーに敏感な視点」とは、性別にまつわる「当たり前」を見つめ直す重要な視点です。現代社会において、ひとつきあいや行動パターン、社会構造などを「ジェンダーに敏感な視点」からとらえ直すことは、社会に埋め込まれた差別や偏見に敏感に反応していく感覚や、他のひとがおかれた立場に対する想像力を育むことにつながります。多様性と向き合う知識や視点を持って豊かに生きていくための課題を、ぜひ一緒に考えてみましょう。

【その他】学校社会の中のジェンダー問題や、対等・尊重のある人間関係、多様な性などのテーマでも講演をしています。また、学校管理職や教員のキャリア形成とジェンダーをめぐる課題についても講演をしています。ご相談下さい。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 国際ジェンダー学会 日本教育社会学会 日本教師教育学会

## (主な研究テーマ)

- ジェンダー平等をめぐる教員研修のあり方に関する研究
- 学校管理職・教員のキャリア形成における政策的・実践的課題に関するジェンダー研究
- 多様な性やジェンダー平等教育実践に関する研究 など

## 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市男女共同参画審議会 委員
- 文部科学省委託「次世代のライフプランニング教育推進事業（男女共同参画の推進に資する教員研修プログラムの開発に向けた調査研究）」検討委員会 委員 など

Keywords

多様性 カナダ ケベック 地域政策

など



古地 順一郎 (こち・じゅんいちろう)

【専門分野】 政治学 移民・多文化共生政策 カナダ研究

【担当科目】 地域政策概論 市民社会論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 多様性を活かした地域づくり
- 多文化共生政策に関わる調査・助言
- 国際交流活動
- カナダ・ケベックに関わる活動
- 市民協働に関わる調査・助言

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 政策立案に関わる調査の支援
- 多文化共生政策の立案・実施に関わる支援
- LGBTQ+とまちづくり

など

学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

地域政策学へのとびら  
—政策を学ぶ意味を考える—

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ( )

【概要】

人口減少が本格的に進む縮小社会において、政策や政治が持つ意味はますます大きくなっています。本講義では、なぜ政策や政治を学ぶ必要があるのかを考えます。

【その他】

カナダや多文化共生に関する講義も提供可能です。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本カナダ学会 日本ケベック学会 移民政策学会 日本政治学会 日本比較政治学会 など

【主な研究テーマ】

- カナダの移民政策、統合政策、多文化共生政策
- カナダの地域政策
- カナダ政治、ケベック州政治
- 多様性を活かした地域づくり

など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 江差町第6次総合計画策定審議会 副会長
- 江差町総合戦略検証委員会 委員長
- 函館・ハリファックス協会 会長
- レインボーはこだてプロジェクト メンバー

など

Keywords

文学の魅力 読書の楽しみ 現代文の読み方 など



小林 真 二 (こばやし・しんじ)

【専門分野】 日本近現代文学

【担当科目】 日本近現代文学史 物語文化論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 日本近現代文学に関する企画・活動等
- 道南の近現代文学に関する調査・研究・まちおこしへの活用等
- 道南地域の文学館・図書館等の活性化
- 中・高の現代文（特に小説）の指導に関する研究会・研修会への協力等

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 学生による「お笑い」出前活動（交流活動に基づく「お笑い」実演）
- 地域や学校の読書活動推進（例：POP・帯作成ワークショップの企画・実施）

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

モダン  
函館不良文学への誘い ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（図書館関係者）

## 【概 要】

函館を代表する作家といえば、石川啄木・・・では本来決していないのだと、亀井勝一郎は断言しています。真に函館らしい文学を生んだのは、長谷川海太郎（谷譲次、林不忘、牧逸馬）、久生十蘭、水谷準という3人の作家——亀井が父から真似をするなど堅く戒められた不良(モダン)な先輩たちでした。本講義では、知られざる3人の文学の魅力について、地元資料や代表作に沿ってわかりやすくお話しいたします。

【その他】時間的に余裕があれば、POP作成ワークショップと組み合わせて実施することも可能です。

中高生や教員を対象とした、現代文教材の読み方・教え方に関する講義や研究会なども大歓迎いたします。

日本近現代文学関連であれば何なりと、ひとまずご相談願えれば幸いです。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本近代文学会 昭和文学会 坂口安吾研究会

## 【主な研究テーマ】

- 坂口安吾の文学・思想
- 近現代日本文学
- 近現代日本の笑い
- 大正期函館のモダン文学

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市教育委員会・図書館協議会委員
- FMいるか「読んで面白い文学案内」パーソナリティー
- 高文連道南支部大会講演「小説の魔術師・久生十蘭——反転と抑制の美学」講師
- 北海道新聞「魚眼図」連載

など

Keywords

国際企業 水産加工業 外国人労働力 など



孔 麗 (こん・りー)

【専門分野】 中国経済経営論 アジア経済論 国際企業論

【担当科目】 アジア経済論 国際比較企業論 経済学特論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

## 【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 外国人技能実習生に対する地域としての支援
- 水産加工業の維持・発展に関する研究
- 中小企業の中国進出セミナー等
- 草の根交流による道南地域の外国人観光客の受入れ支援

など

## 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 過疎地域の労働力確保に関する調査・研究の支援
- 外国人単純労働者の受入れに関する調査・研究の支援
- 日中交流の支援
- 中国語検定試験の支援

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

「ユニクロ」はいかにして  
グローバル企業になったのか ほか【対 象】  一般・ 中高生・教員・その他 ( )

## 【概 要】

「ユニクロ」といえば、若い人なら誰でも知っているお店ですが、現社長が父親から経営を引き継いだときは、山口県宇部市の紳士服を安く販売する中小企業にすぎませんでした。それが今や、中国をはじめとするアジアを中心に、衣料品を製造し、日本はもとより世界中に店を出すグローバル企業に成長しています。そこにはどのような経営戦略があったのでしょうか。

【その他】一般、社会人向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。上記のテーマの他、専門領域範囲内の実績を参考に気軽にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 中国経済経営学会 北日本漁業経済学会 企業家研究フォーラム アジア政治経済学会 経営戦略学会

## 【主な研究テーマ】

- 漁獲量と魚種の変化に対する水産加工業の取り組み  
一八戸市との比較からみる函館市の今後の対応一
- 外国人労働政策の転換による秩序ある単純労働者の受入れ
- イカ不漁が産地依存型産業に与えた影響とその対応
- 渡島地域における海外展開企業の経営戦略 など

## 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 国際ロータリー米山奨学生学友会 会員
- 南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員
- 北海道開発協会外国人材の受入れに関する研究会 委員
- 函館五稜郭ロータリークラブ卓話「国際交流を通じた国際都市を目指す函館の街づくり」
- 函館市の国際交流行事への参画 など



Keywords

健康な地域づくり 地域の互助体制づくり など



齋藤 征人 (さいとう・まさと)

【専門分野】 地域福祉・ソーシャルワーク

【担当科目】 ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳ など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の生活支援体制整備に関する調査研究（聞き取り調査）・支援
- 既存の地域資源を活用した地域コミュニティ拠点づくりに関する研究・支援
- 福祉×異業種とのコラボレーション研究・支援

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の生活ニーズ調査及びその支援
- サードプレイスを拠点とした社会貢献活動促進支援
- 「まちづくりカフェ」等による地域づくり支援
- 社会福祉士国家試験受験支援

など

学  
生  
た  
ち  
と

教員が提供可能な講演・講義例

自分のできるコトで誰かのためになれるまちづくり ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】

生活スタイルや価値観の多様化によって、地域コミュニティが無縁化しつつあるといわれています。他方、住民同士がつながりを実感できる地域コミュニティ再生への試みも、各地で始まっています。

本講義では、多様な主体による「おたがいさま」の地域づくりの魅力とその可能性について考えます。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本社会福祉士会

【主な研究テーマ】

- ソーシャルワーカーの実践知形成過程
- 遊休施設を活用した福祉コミュニティづくり
- 地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市地域包括支援センター運営協議会 副会長
- 北斗市総合戦略検討・推進会議 会長
- 北斗市地域公共交通活性化協議会 会長

など

Keywords

## 地域での日本語教育 日本語支援

など



佐藤 香織 (さとう・かおり)

【専門分野】 言語学 日本語学 日本語教育

【担当科目】 日本語教育学Ⅱ 日本語教育実習Ⅰ～Ⅱ など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 企業・地域での日本語学習支援者養成
- 小中学校教員に対する日本語教育セミナー
- グリーン・ツーリズムや観光における効果的な異文化コミュニケーションの支援など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 海外にルーツを持つ児童・生徒の日本語支援  
→地域プロジェクトで現在、支援活動を行っている

学生たちと

など

## 教員が提供可能な講演・講義例

地域に必要な日本語教育とは

【対象】 一般・中高生・教員・その他( )

【概要】

地域に日本語教育を必要とする人々、観光で日本を訪れる人々がますます多くなっています。都市部とは異なり、人的リソースが少ない「地域」では、日本語教育や異文化間コミュニケーションについての知見を多くの方々が共有することが、異なる文化・言語の方々との共生社会の基礎となり、地域活性化を推し進めることにつながります。まずどんなことを私たち一人ひとりが考えていくべきか、一緒に考えていきましょう。

【その他】一般、社会人向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。上記のテーマの他、専門領域範囲内の実績を参考に気軽にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 日本言語学会 日本語文法学会 日本語教育学会 異文化間教育学会 言語政策学会等

【主な研究テーマ】

- 日本語の補文や補部名詞句の表すイベントと文法的振る舞いとの関係についての研究
- 日本語の数量詞の文法的・意味的振る舞いについての研究
- グリーン・ツーリズムにおける日本語教育
- 日本語教員養成課程における効果的な実習の在り方についての研究 など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 日本語ボランティア育成セミナー 講師
- 「日本語学習支援ネットワーク会議 2014 in 青森」の企画、実行
- 秋田にほんごの会
- 文部科学省日本語指導アドバイザー「招聘事業シンポジウム「函館市の子どもの日本語支援を考える」の企画、実行 など

Keywords

ことばの意味の分析 やさしい日本語の活用

など



高橋圭介（たかはし・けいすけ）

【専門分野】 日本語学（意味論・文法論）

【担当科目】 外国語としての日本語 日本語教育文法Ⅰ～Ⅱ など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 公的文書・掲示物などを対象とした「やさしい日本語」への書き換え支援
- 防災・減災のための「やさしい日本語」の活用
- ことばに関する実態調査（誤用や地域方言、若者ことばに代表される新規性の高い表現などを対象とした調査）

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域住民や観光客を対象とした、方言に関する意識調査
- 外国人観光客に向けた、「やさしい日本語」による観光用展示物の書き換え
- 「ことばカフェ」（日頃ことばについて抱いている関心事、疑問点について、参加者で議論するイベント）の開催

など

学生たちと

## 教員が提供可能な講演・講義例

ことばの意味を考える

【対象】  一般・ 中高生・教員・その他（ ）

【概要】

ことばの意味が持つさまざまな性質について、実際の分析を通して考えていきます。具体的には、類義語間の意味の違い、多義語が表す複数の意味の区分、通常の日本語から「やさしい日本語」への書き換え、などについて参加者に議論してもらい、そこで出た結果に基づいてさらに考察を深めていきます。普段あまり考えることのない、ことばの問題に意識を向けることによって、参加者の「ことばに対する気づき」を促すことを意図しています。

【その他】 上記の講義は主に中高生を対象としていますが、一般向けにアレンジすることも可能です。また、教育大では日本語教員養成プログラムにも関わっているので、日本語教育とからめた講義も可能です。

## 研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 日本語文法学会 日本語教育学会 日本語学会 日本認知言語学会

【主な研究テーマ】

- 現代日本語における類義語および多義語の意味記述とその方法論に関する研究
- 「やさしい日本語」への書き換えに関する研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館日本語教育研究会
- ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座言語学系・日本語学系非常勤講師

など

Keywords

政治思想 交通思想 路面電車



田村 伊知朗 (たむら・いちろう)

【専門分野】 政治学・近代思想史

【担当科目】 近代交通思想史・発展ドイツ語・政治学概論

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 講演会、座談会  
(講演実績：函館日独協会、北斗市教育委員会、  
函館フェロークラブ、函館東ロータリークラブ、  
函館横丁倶楽部等)

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- ドイツ語入門講座

学  
生  
た  
ち

教員が提供可能な講演・講義例

路面電車・北海道新幹線

【対 象】 一般・中高生・教員

【概 要】 路面電車、とりわけドイツのそれを探求している。動力化された個人交通の進展による都市構造の変容、都市の環境破壊を研究している。

最近、都市の意義を農村から思想史的に基礎づけている。農民哲学者、中島正の都市論を討究している。

数十年来、北海道新幹線の意義を研究している。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授

【所属学会】 社会思想史学会 日本政治学会 交通権学会

【主な研究テーマ】

- ヘーゲル左派の社会思想
- 路面電車、新幹線の討究
- 交通と都市構造、交通と環境問題

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館日独協会 副会長
- 函館家庭裁判所委員会 委員

Keywords

ソーシャルワーク 福祉教育 生涯学習 など



外 崎 紅 馬 (とのさき・こうま)

【専門分野】 社会福祉学 地域福祉 福祉教育

【担当科目】 地域福祉論 社会科学入門(社会福祉学) など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 生涯学習・福祉教育に関する調査研究・支援
- 社会福祉・ソーシャルワークに関する理解促進

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の生活課題についての検討及び考察
- 地域課題に関する意識啓発と社会的行動の促進支援

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

生活で活かすソーシャルワーク

【対 象】  一般・中高生・教員・その他 ( )

【概 要】

ソーシャルワークは人を支援するために体系化された専門的知識や技術などのことですが、身のまわりの人間関係や普段のコミュニケーションに活用することで生活環境がより良くなります。

本講義では、日常生活で有用なソーシャルワークについて理解を図ります。

【その他】

講演や講義は、演習やグループワークなども取り入れて、聴くだけではなく参加者同士の交流も図りながら進めていきます。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授

【所属学会】 日本教育カウンセリング学会 日本社会福祉学会 日本保育学会

【主な研究テーマ】

- 福祉教育の教育内容と教授方法
- 生涯学習としての社会福祉
- 日常生活行動を活用したソーシャルワーク

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 函館市教育委員会 社会教育委員 副委員長
- 函館市福祉のまちづくり推進委員会委員
- 函館市地域福祉計画策定委員会委員

など

Keywords

日本文学 国語科教育 など



内 藤 一 志 (ないとう・かずし)

【専門分野】 教科教育学 日本文学 国語科教育

【担当科目】 初等・中等国語科教育法 絵本の作品分析 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 国語科の授業づくり
- 全国学力学習状況調査（国語）への対応
- 絵本の作品分析

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 小中学生の国語科の授業サポート
- 小中学生の国語科の授業調査

など

学  
生  
た  
ち

教員が提供可能な講演・講義例

- 言語活動型の授業をつくる—学力調査問題をヒントにして（2016 檜山管内学力向上サポート研修会）
- 国語教科書と絵本—違いから見えてくること—（2017 高文連道南支部図書専門部図書研究部研修会）
- 授業改善セミナー（2019—2020 ほっかいどう学力向上推進授業「授業改善支援事業」鹿部小学校）
- 主体的に学ぶ力を育成する話し合い活動の姿（2019 北斗市立上磯中学校）

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】主に教員向けとして、国語科の授業づくり全般（書写を除く）について、学校、教育委員会等の求めに応じて講演やワークショップ型の演習を提供できます。

教員だけでなく一般の方や中高生向けにも、絵本について初歩的な作品分析の方法（言葉と絵の相互関係）を用いて講演やワークショップ型の演習を提供できます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 日本国語教育学会 日本教科教育学会 読書学会 日本文学協会 全国大学国語教育学会 など

【主な研究テーマ】

- 明治以降の古典（古文）教育に関する史的研究
- 学力調査対応を図った国語科の授業改善

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 全国大学国語教育学会 地区理事
- 日本国語教育学会 地区理事
- 北海道教育委員会や函館市教育委員会が主催する研修講座

など

Keywords

子どもの貧困 子ども虐待 子育て環境

など



中村直樹（なかむら・なおき）

【専門分野】 子ども家庭福祉 社会福祉学

【担当科目】 児童福祉論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 子どもや家庭の福祉に関する催し等
- 子どもや家庭の福祉に関する調査・研究
- 子どもや家庭の福祉に関する活動・取り組みの研究・支援

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 貧困、虐待、社会的養護など多様な子どもたちのことをとことん考えたチャイルド・ファーストな地域づくりの支援

など

学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

子どもをめぐる問題の理解と対応 ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概要】

私の専門である子ども家庭福祉は、子どもをめぐる問題の解決が基本にあり、そのために大切になるのは問題を正しく理解することです。そこで、私の講演・講義では、子どもをめぐる問題として子どもの貧困、子ども虐待、少年犯罪などの問題について取り上げ、それらを正しく理解することについて学びます。また、それらの問題を解決するにはどのような方法が最善なのかということについても学んでいきます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本フォスターケア研究会

【主な研究テーマ】

- 地方都市において展開可能な貧困対策に関する基礎研究
- 学校における児童虐待対応に関する研究
- 子どものレジリエンスに関する研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道子どもの虐待防止協会道南支部 監事
- 「子ども・家族が抱える貧困の実態：学校・教師に問われる子どもの貧困の理解と対応」「児童虐待について：気になる家庭のサイン、発見から対応まで」など講演多数。

など

Keywords

インフラ整備 持続可能な開発 など



西宮 宜昭 (にしみや・のりあき)

【専門分野】 インフラ整備と持続可能な開発  
地域開発、エンパワーメント など

【担当科目】 国際協力概論 国際協力事業論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

## 【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 国際協力・国際開発と日本の地域の役割
- インフラ整備と地域開発及び持続可能な開発
- いずれのテーマ・取り組みもエンパワーメントと社会関係資本を重視、国際協力機構 JICA との関係作り など

## 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 函館地区の国際協力関連の団体の動向とイベント調査 など

学生たちと

## 教員が提供可能な講演・講義例

持続可能な開発と SDGs ほか

【対象】  一般・中高生・教員・ その他 (大学生)

## 【概要】

環境問題から、このままでは地球と社会が持たないことを示し、持続可能な開発の概念がどのような歴史的経緯により形づくられたか、防災の観点や地域開発（活性化）等が新しく追加されたかについて説明する。持続可能な開発目標 SDGs についても、その合意の背景と経緯等を説明する。さらに今後の課題について参加者と議論したい。地球と社会を持たせるためには、意識改革と内発性が重要であることも示す。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 土木学会 国際開発学会

## 【主な研究テーマ】

- インフラ整備と国際協力・国際開発
- インフラ整備と地域開発（活性化）
- インフラ整備と持続可能な開発、防災を含む  
いずれの場合も社会関係資本とエンパワーメントを重視  
など

## 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 広島県と東広島市における国際関係の委員会
- 広島大学たおやかプログラム メンター など



Keywords

人権・平和 日韓問題 国際人権 など



河 錬 洙 (は・よんす)

【専門分野】 国際協力 国際法 国際人権

【担当科目】 国際機構論 国際人権論 国際法 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

## 【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 海洋環境保護・保全に関する国際協力
- 国際紛争の解決のための国際協力（市民フォーラム等）
- 海洋政策に関する国際協力（漁業・沿岸管理等）

など

## 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 函館の国際交流活動の現状と課題について分析・検討
- 国際交流活動を通じた函館まちづくり支援

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

国際協力政策・国際交流活動

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

## 【概 要】

現代国際社会の現状を踏まえ、国際協力の意義や課題について考えてみたいと思います。特に、貧困問題や南北問題の現状を把握し、国連やその他の国際機関の機能・役割について、さらに日本（政府）の役割（ODA）や、様々な国際NGO活動を解説します。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 国際法学会（日本） 世界法学会（日本） 大韓国際法学会（韓国）

## 【主な研究テーマ】

- 国際法における国際協力の意義や課題について
- 生物多様性の保護に関する国際法の動向について
- 深海底資源の開発をめぐる国際法と、海洋環境の保全・保護

など

## 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館地方裁判所及び家庭裁判所委員会委員として活動
- 在日本大韓民国民団函館支部役員として活動

など

Keywords

美術教育 アートプロジェクト プログラミング教育 など



## 橋本 忠和 (はしもと・ただかず)

【専門分野】 社会教育(市民教育) 学校教育(教育方法)

【担当科目】 学びとカリキュラム 初等図画工作 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

### 地域協働可能なテーマ・取組例

教員が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の教員・保育者の授業研究の支援
- 造形活動を軸にした ITC 教育の推進
- 表現活動を通じた地域の子育て支援活動
- 保・幼・小連携教育の支援
- 地域の芸術家等の連携事業

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域を元気にするアートプロジェクトの創造 (地域教育関連機関との連携)
- 放課後の幼児・児童の学習支援 (造形活動等を通して)
- 地域における ICT 教育の支援とは

など

学生たちと

### 教員が提供可能な講演・講義例

ロボットを活用した造形表現活動の  
プログラミング教育としての可能性とは

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 (地域の方)

【概要】

本講義は「アンブラグドやフィジカル・プログラミング教育」等の観点から幼児の造形表現活動とプログラミング的思考との接点を抽出した自らの先行研究を基に、ロボットの「プログラミング」体験を組み込んだ造形表現活動のプログラミング教育の可能性について実際にロボットを操作することを通して体験的に学ぶことを目的としている。その手法としては、色シールの組み合わせでプログラミングできるロボットを教材に、その動きから発想した「玩具」や「迷路」を作る造形表現活動と小学校のプログラミング教育の手引きが示す「プログラミング的思考過程」やミッチェル・レズニックの学習デザイン・モデル「クリエイティブ・ラーニング・スパイラル」等との接点を体験的に学ぶ内容になっている。

【その他】 主体的・対話的で深い学びの創造と評価 地域を活性化するアートプロジェクトの創造  
サルの絵と子どもの絵との違いから学ぶ表現発達理解 幼児期における社会情動的スキルの育成

### 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域教育専攻・教職大学院 兼務 教授

【所属学会】 大学美術教育学会 美術科教育学会 日本美術教育学会 環境芸術学会 和文化教育研究学会

【主な研究テーマ】

- フィジカル・プログラミング教材を活用した科学遊びにおける造形活動の思考過程についての一考察
- 絵本の読み聞かせによる社会情動的スキル育成の可能性についての一考察

など

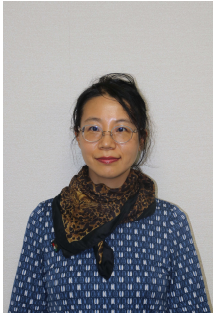
【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 日本美術教育学会委員 委員
- 江差の巨大ニシンのぼりの地域活性化アドバイザー

など

Keywords

記憶力 創造性 習慣化するチカラ



林 美都子 (はやし・みつこ)

【専門分野】 認知心理学 実験心理学 記憶 学習 認知

【担当科目】 認知心理学 認知科学 学習心理学 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- ズボラ記憶術
- 毎日コツコツ頑張るコツとは
- メダカと学ぶ「心理学」
- 理系でも心理学は学べますか

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

左記に同じ

など

学  
生  
た  
ち  
と

教員が提供可能な講演・講義例

記憶を良くする十の方法 ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ( )

【概 要】

「記憶力に自信がありますか？」と訊かれて「いいえ、記憶は苦手です」と答えられる人は、実は記憶力の優れている人です。なぜなら、これまでの人生における記憶の失敗経験を「ちゃんと覚えている」からです。学校でテストを受けるとき、友達と思い出話をするとき、朝目が覚めて自分が誰でここはどこで今日は何をしようかと考えるとき、「記憶」は、いつでもわたしたちの人生に寄り添っています。それでも、まだまだあっと驚く意外な側面がどんどん明らかになってきているのが「記憶の世界」です。一緒に最新の記憶研究を学んで、楽しく記憶力を向上させてみませんか？

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、ご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 准教授

【所属学会】 日本心理学会 認知心理学会 認知科学会 教育心理学会 教師教育学会 北海道心理学会 など

【主な研究テーマ】

- 記憶高進現象（復習しないでテストを繰り返すだけで記憶力が向上するメカニズムの追究）
- 無意識の記憶・潜在記憶（無意図的、無自覚であっても覚えていて、思い出せる情報の特徴、その研究方法の追究）
- 創造力（優れた創造力や直観力は、着実に地道な論理的思考力や記憶力に支えられている）
- メダカや両生類の実験室外条件づけ

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道心理学会理事
- 記憶・認知研究会

など

Keywords

社会政策 統計データ など



藤井麻由 (ふじい・まゆ)

【専門分野】 公共経済学

【担当科目】 公共政策学 社会科学入門Ⅱ (公共政策) など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 地域の統計データに関する調査・研究

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 左記に同じ

学  
生  
た  
ち  
と

など

## 教員が提供可能な講演・講義例

統計データの読み方・使い方

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ( )

【概 要】

「客観的な証拠」に基づく議論をするために、統計データを使うことが重要だと言われています。しかし、統計データを使えば必ず「客観性」が担保できる訳ではありません。本講義では、統計データの正しい読み方・使い方を学びます。

【その他】 地域の実態を量的データによって「見える化」することの重要性について

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 アメリカ医療経済学会 医療経済学会 日本経済学会

【主な研究テーマ】

- 生活保護と就労に関する実証研究
- 労働移動とキャリア形成に関する実証研究
- 健康の社会経済的決定要因に関する実証研究

など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 市立函館病院倫理委員会 委員 (~2017年9月)

Keywords

知的障害 学習形態(交流及び共同学習支援) など



細 谷 一 博 (ほそや・かずひろ)

【専門分野】 特別支援教育

【担当科目】 特別支援教育基礎論 障害児地域支援臨床 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |  |   |                       |
|-------------|--|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】  | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校特別支援学級における交流及び共同学習に関する研究</li> <li>●小学校特別支援学級に在籍する児童に対する学習支援</li> <li>●インクルーシブ保育の推進に向けた園内支援委員会の在り方に関する研究</li> </ul> など | <ul style="list-style-type: none"> <li>●知的障害児を対象とした休日のスポーツ活動支援(<i>Special Olympics</i>)</li> <li>●小学校の通常学級児童を対象とした障害理解学習の実践</li> </ul> など |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

特別ではない支援教育

【対 象】 一般・中高生・教員・その他( )

## 【概 要】

特別支援教育は、障がいのある児童生徒を対象とした教育ではなく、子どもたち個々がもつ教育的ニーズに対応する教育として行われる必要があります。つまり特別支援教育は、障害のある児童生徒だけでなく、全ての児童生徒を対象としています。そこで本講義では「障がい」をどのように捉えて子どもたちに支援をする必要があるのか？子どもたちの抱える困難はどのようなものなのか？を知り、特別ではない支援教育について解説します。

【その他】 中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。可能な限り対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 日本保育学会 日本特殊教育学会 日本教育心理学会 日本発達障害学会 北海道特別支援教育学会

## 【主な研究テーマ】

- 知的障害児(者)を対象とした内発的動機づけに基づく交流及び共同学習の実施に関する実践的研究 個人研究
- 幼稚園(保育園)に在籍する気になる園児を対象とした支援方法に関する実践的研究 機関内共同研究

など

## 【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 ゴルフ競技部会 幹事
- NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・北海道 理事
- 北海道特別支援教育学会 道南支部長

Keywords

学校臨床 子育て支援 乳幼児教育 心理学 など



本 田 真 大 (ほんだ・まさひろ)

【専門分野】 発達臨床心理学

【担当科目】 幼児理解の理論と方法 学校臨床心理学 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 幼児教育・保育の質向上に関する支援  
(環境の構成、園内研修の方法提案、10の姿からの乳幼児理解)
- 予防的・開発的教育相談プログラム(集団対象)の作成と検証

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 子育て支援イベントの協力・補助
- 幼稚園・こども園・保育園での遊び・交流活動「あそびっこだいさくせん」
- 小～高校生対象の人間関係づくり、いじめ未然防止活動、自殺予防教育

など

学  
生  
た  
ち  
と

## 教員が提供可能な講演・講義例

保育の質と幼小接続

【対象】 一般・**中高生**・**教員**・その他 (**保育士**・**保護者**)

## 【概 要】

心理学の点から乳幼児期の教育・保育の重要性と特徴を解説し、小学校での学びにどのようにつながるのかを説明します。そして、大人(教師や保育士、保護者など)としてどのように乳幼児や進学間もない頃の小学校1年生と関わるとよいか(遊びの環境づくりや関わり方)を考えます。

【その他】心理学やカウンセリング、乳幼児教育・保育の様々なテーマで児童生徒や教職員、保護者対象の講演を実施します。詳しくは「北海道教育大学 本田研究室」のホームページ→「実践活動」→「研修・講演歴」をご覧ください。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 日本心理学会 日本保育学会 日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 など

## 【主な研究テーマ】

- 悩みの相談に関する研究  
(相談をためらう心理、上手な相談の仕方など)
- 予防的・開発的教育相談プログラムの作成と検証  
(ソーシャルスキル教育、いじめ未然防止、自殺予防など)
- 幼児教育・保育の質に関する研究  
(幼児の挑戦的意欲、保育記録を通した幼児理解、幼稚園教員養成教育など)

など

## 【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 北海道幼児教育推進センターエリアスーパーバイザー
- 北海道教育委員会自殺予防教育プログラム検討会
- 北海道公立学校スクールカウンセラー
- 函館市教育委員会教育支援委員会
- 函館市教育委員会「家庭教育セミナー」講師
- 函館市子ども未来部子ども会議ファシリテーター  
(～2019年3月)
- 北海道知内町インクルーシブ教育システム構築モデル  
地域事業推進アドバイザー(～2016年3月) など

Keywords

環境技術 ナノ材料 応用物理学 など



松 浦 俊 彦 (まつうら・としひこ)

【専門分野】 生物工学 表面科学 科学教育

【担当科目】 基礎環境物理学 生体物質環境論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |  |   |                       |
|-------------|--|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | <b>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>●ナノ材料・ナノバイオサイエンスに関する研究・支援</li> <li>●環境技術・環境材料に関する研究・支援</li> <li>●先端科学教育に関する研究・支援</li> <li>●SSH 科学楽しみ隊の活動</li> <li>●函館だいもん大学の活動</li> </ul> | <b>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>●科学実験教室の開催・支援</li> </ul> | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | など   | など  |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

|  |   |
|--|---|
| <b>バイオミメティクス～生物から学ぶ環境技術～</b>   | <b>【対 象】</b> <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・教員・その他（ ）   |
| <b>【概 要】</b><br>水産資源が豊富な北海道。特に、イカは食卓に欠かせない食材ですが、墨などの非可食部の多くは廃棄物として処理されています。近年、こうしたイカの廃棄物を有効資源に転換させようとする新たな取り組みが北海道ではじまっています。本講義では、イカ墨を天然可食性黒色インクや次世代太陽電池、オーガニック化粧品の材料にする最新の環境技術について紹介します。                          |   |
| <b>【その他】</b> 上記のテーマは一例です。一般向けから中学・高校生向けの講演ができます。日程が許す限り対応いたしますので、ご相談ください。過去の実績：さくらサイエンスプラン（ベトナム・タイ・台湾・中国の高校生対象）、市立札幌開成中等教育学校（3・4年生対象）、附属函館中学校（全学年対象）、函館市立柏野小学校親子レク（5年生と保護者対象）、北海道大学総合博物館（市民対象）、函館横丁倶楽部（企業経営者対象）など。 |   |
| <b>研究者情報</b>   |   |
| <b>【現 職】</b> 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授<br><b>【所属学会】</b> 応用物理学会 日本表面科学会 日本分子生物学会 日本科学教育学会   |   |
| <b>【主な研究テーマ】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>●イカ墨の太陽電池材料への応用</li> <li>●イカ墨のオーガニック化粧品への応用</li> <li>●イカ墨の基礎特性評価</li> <li>●リボソームの1分子観察</li> </ul>   | <b>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道函館中部高等学校 学校評議員</li> <li>●市立札幌開成中等教育学校スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 運営指導委員</li> <li>●函館だいもん大学 理事</li> </ul> |
| など   | など  |

Keywords

ナショナリズム ポーランド史 など



宮崎 悠 (みやざき・はるか)

【専門分野】 政治学 国際関係論 政治思想史

【担当科目】 国際協働概論 IV(国際関係概論) 国際政治理論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |  |   |                       |
|-------------|--|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】  | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホロコースト研究の歴史と現状について講演、ワークショップ</li> <li>●映像資料、デジタル化された資料をもとにした資料保存の現状について講演</li> <li>●沖縄戦研究の歴史と現状についてワークショップ、ドキュメンタリー映画の上映 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の戦跡・戦争の記憶に関する調査研究（聞き取り調査）・支援</li> <li>●低学年～高学年向けの平和学習プログラムの実施 など</li> </ul> |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

戦争と平和のツーリズム  
：沖縄戦のすずらん【対 象】  一般・ 中高生・教員・その他（ ）

## 【概 要】

太平洋戦争末期、沖縄では激しい地上戦が行われ、20万人もの人が亡くなりました。最も多く犠牲になったのは島の人達ですが、都道府県別の戦没者数では、北海道出身者が沖縄に次いで多かったのです。

美しい南の島で、どうしてそんなに多くの方が命を落としたのか。戦争とは、平和とは何か？「観光は平和産業」という言葉には、どのような意味が込められているのか。戦後の文化政策、文化財の復興を手掛かりに、考えてみましょう。

【その他】一般向けから、小学生向け平和学習、中学・高校などでの講義・ワークショップのニーズに対応します。テーマについては受講者の学年に沿って対応いたします。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 講師

【所属学会】 東欧史研究会 日本国際政治学会 日本ユダヤ学会 比較政治学会

## 【主な研究テーマ】

- ソ連・東欧におけるホロコーストの比較研究  
国際共同研究
- 戦間期中欧論の比較研究：民族自決原則と欧州統合の起点としての地域再編論 国内共同研究

など

## 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 地域プロジェクト「国際関係から持続可能な暮らしを提案するプロジェクト」の実施

など



Keywords

景観生態学 生態系修復 自然史 都市緑化植物 など



村上 健太郎（むらかみ・けんたろう）

【専門分野】環境農学 景観生態学 基礎生物学 シダ植物学

【担当科目】環境緑化論 都市環境論 生物科学基礎 北海道の自然誌 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 緑地に生育する（野生の）植物、植生の生態学的な調査・研究
- ビオトープや自然回復緑化など創造的な緑地保全活動に関する研究と支援、助言
- 地域の自然改変を伴う土地造成、緑化に関する研究と支援、助言

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 緑地に生育する（野生の）植物、植生の生態学的な調査・研究
- 緑視率や緑被率などの計測・調査・研究を通じた都市緑化活動への提言

など

学  
生  
た  
ち  
と

教員が提供可能な講演・講義例

都市の生物多様性と生態系ネットワーク

【対 象】一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】

近年、都市にも生物多様性は必要とされていますが、その理由、背景について景観生態学（Landscape Ecology）の観点から説明します。また多様性保全を目指した都市生態系ネットワークの現状と未来について解説します。

【その他】これまで行った講演のテーマとして「シダ植物の不思議」、「環境に関する仕事に就くには」、「海岸の自然再生と震災からの復興」、「屋上緑化と緑化素材」、「あなたもできる生物多様性保全」などがあります。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 准教授

【所属学会】 日本緑化工学会 日本生態学会 日本造園学会 日本景観生態学会

International Consortium of Landscape and Ecological Engineering, American Fern Society

【主な研究テーマ】

- 都市緑地の生物多様性保全と増加に関する研究
- シダ植物の気候変動指標化に関する研究
- 海岸植物の保全に関する研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 公益財団法人矢作川水源基金 評議員
- きしわだ自然友の会 評議員
- 一宮市環境計画市民会議アドバイザー
- NEXCO 西日本滋賀県域自然環境保全検討会委員

など

Keywords

多様性の地域づくり 移民・難民の社会統合 など



森 谷 康 文 (もりたに・やすふみ)

【専門分野】 国際福祉 ソーシャルワーク

【担当科目】 国際福祉論 地域と異文化 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

## 地域協働可能なテーマ・取組例

|             |   |   |                       |
|-------------|---|---|-----------------------|
| 教<br>員<br>が | 【教員が協働可能なテーマ・活動例】   | 【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】   | 学<br>生<br>た<br>ち<br>と |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人住民の生活問題に関する調査研究及び支援</li> <li>●外国人労働者・雇用に関する調査研究及び就労支援・雇用支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●難民問題に関する映画上映とワークショップ</li> <li>●外国人雇用に向けたマーケティング・ツールの作成</li> <li>●外国人児童・生徒への学習支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |                       |

## 教員が提供可能な講演・講義例

こんなにも身近な難民問題

【対 象】 一般・中高生・教員・その他(小学生)

## 【概 要】

世界では、史上最悪の事態と称されるほど難民となる人々が増大しています。一方、日本にも難民がいることはあまり知られておらず、どこか遠い国の話と感じる人も多いのではないのでしょうか。本講義では、難民問題の基礎的な知識を学ぶとともに、難民が抱えている様々な困難だけでなく日本や各国に逃れた難民が、働き、学び、受け入れ社会の一員として活躍していることの状況を知ることを通して、難民の社会統合のあり方を考えます。

【その他】 職場や学校、さらには保健医療福祉の実践における異文化理解や外国人支援に関する法律、制度、支援技術、対象者理解などを講演、ワークショップ、事例検討など多様なかたちでおこないます。

## 研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 移民政策学会 日本社会福祉学会 多文化間精神医学会

## 【主な研究テーマ】

- 地域の変化に関する住民意識の国際比較研究  
—函館・道南地域とカナダ大西洋沿岸地域を中心に—
  - 難民の社会統合と地域定住支援
  - lived experience(生きられた体験)の生成過程の把握  
—難民のトラウマ体験の意味づけを通して—
  - 外国人労働者受け入れの課題検討
- など

## 【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 北海道教育庁スクールソーシャルワーカー活用事業  
エリアスーパーバイザー
  - 函館市自殺予防対策実務者会議 委員
- など

Keywords

若者の自立・脱北者の地域社会への定着 など



尹 鈇 喜 (ゆん・じんひ)

【専門分野】 家族社会学・地域研究・ジェンダー

【担当科目】 社会学概論・地域社会学・現代社会変動論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教  
員  
が

【教員が協働可能なテーマ・活動例】

- 若者の自立と親子関係に関する質的研究
- 在日韓国・朝鮮人のライフストーリーと地域社会への定着に関する研究

など

【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】

- 地域における若者の自立と家族に関する質的調査
- 在日韓国・朝鮮人の地域生活に関する質的調査

など

学  
生  
た  
ち  
と

教員が提供可能な講演・講義例

脱北者の社会適応と生存戦略 ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】 近年、韓国では3万人を超える脱北者が定着しています。彼・彼女らは、同じ文化背景や言語を持っているものの、韓国社会に適応するのは容易ではありません。脱北者が韓国社会に適応するためにどのような生存戦略が行われているかを説明し、地域社会の中でマイノリティの方が生活することについて考えます。

【その他】 成人期の親子関係、若者の自立、韓国の教育に関するテーマでの講演・講義ニーズに対応します。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 日本社会学会、日本家族社会学会、地域社会学会、日本移民学会、教育文化学会 など

【主な研究テーマ】

- 現代韓国を生きる若者の自立と親子の戦略
- 脱北者の韓国社会への適応に関する研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】